

横断歩道橋の老朽化

録画配信 

地域の声を聞き、
地域の特徴を踏まえ対応を

つぶやき

みらいの会
そごう 拓也 議員

Q 市が管理する歩道橋の利用状況と管理は

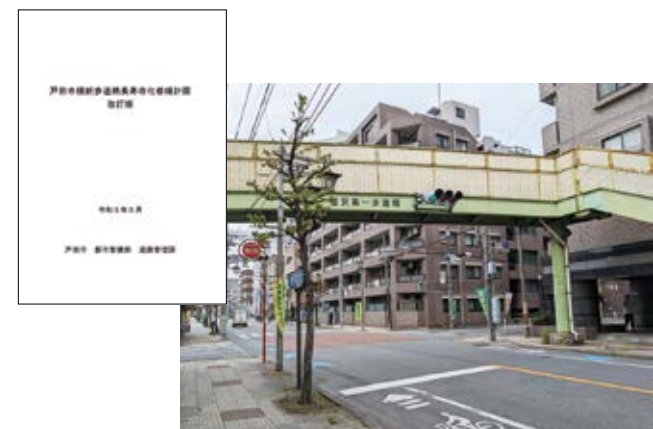
A 定期点検し、必要に応じた補修などを行う

議員 市が管理している歩道橋は5橋あるが、うち2橋は建設後50年を超える。1969年架設の喜沢第一歩道橋は、供用年数が55年経ち老朽化している。利用状況及び管理状況について伺う。

都市整備部長 令和4年3月「戸田市横断歩道橋長寿命化修繕計画」を策定した。5年に1度損傷状況や健全度を診断し、必要に応じた管理・補修を行っている。通行量は7時から19時の12時間で、喜沢第一歩道橋78人、笹目第一歩道橋384人、稲荷歩道橋1,364人である。戸田公園駅前高架通路西側及び東側2橋は調査していない。なお、車両交通量調査から10年以上経過しているため、点検時に調査できるように検討する。

議員 歩道橋長寿命化修繕計画改訂時には、集約化・撤去、修繕の推定も必要となる。ニーズも社会、交通、経済環境と共に変化している。計画の判定、対策、概算費の判断にあたり、地域ニーズも踏まえ改訂をすべきではないか。

都市整備部長 計画に記載のとおり、維持・管理費の増、利用状況、迂回路の有無などを踏まえ、代替可能な横断歩道橋について集約化・撤去を行う。なお、地域ニーズは留意事項として加えるなどの工夫を行う。



建設後50年を超える喜沢第一歩道橋

医療的ケア児支援

録画配信 

医療的ケア児の家族の人生も
尊重される支援を

つぶやき

戸田の会
宮内 そうこ 議員

Q 医療的ケア児支援のために行政間の連携を

A 相互に情報共有、連携を図り、支援する

議員 医療、保健、福祉、保育、教育など多岐にわたって支援が必要な医療的ケア児などやその家族が、年齢に応じた支援を受けるための行政間の連携は。

健康福祉部長 行政間で相互に情報共有、連携を図り、適切な支援につなげていく。

議員 保育園の医療的ケア児の受入状況は。

こども健やか部長 公立の新曽保育園において合計2名となる予定である。

議員 公立小中学校の医療的ケア児の受入体制は。

教育部長 適切な医療的ケアを実施できるよう医療機関と連携しながら体制整備に努めていく。

議員 地域の学童保育室の医療的ケア児の受入体制は。

こども健やか部長 医療的ケア実施が可能と判断した場合、保育場所や人材確保などの受け入れ準備を行う。

議員 災害時の支援は。

危機管理監 蓄電池などを避難所で充電できる環境を整えていく。



その他の質問

Q 公園のトイレの洋式化のスピードアップを。

A 公園トイレ全体の洋式化を計画的に進めていく。

認知症対策

録画配信 

認知症になっても安心して
暮らせるまちに

つぶやき

公明党
三浦 芳一 議員

Q 軽度認知障害の受診体制確立を

A 認知症ケアパスで早期発見・受診促す

議員 発症前の軽度認知障害(MCI)の対応が大事。早期発見のため、今後の受診体制の確立を。

健康福祉部長 認知症ケアパスの中で解説し、早期発見のために受診を促す。

議員 フランス語で「あなたを大切に思っている」ことを表現する技法で、ユマニチュードの推進を図ってはいかがか。

健康福祉部長 より良いケアが実現するよう、講座などの機会を通じて情報発信をしていく。

Q 災害関連死防止策「T・K・B・W」の拡充を

A 「T・K・B・W」に配慮した避難所運営を目指す

議員 災害関連死防止対策のため、T(トイレ)K(キッチン)B(ベッド)W(暖)、特にトイレ対策の拡充を。

危機管理監 清潔なトイレ、必要な食糧、体を休める寝床、寒さ対策に配慮した避難所運営を目指す。

議員 ブラックアウト、冬季・夜間訓練の実施を。

危機管理監 参加者を増やす工夫を行い、内容もブラッシュアップし実践的な防災訓練を実施していく。



大規模停電を想定した訓練で非常時の対策を

公共交通の維持

録画配信 

新しい公共交通網の構築を！

つぶやき

公明党
みうら 伸雄 議員

Q 公共交通維持と利便性向上の施策を

A 地域公共交通協議会で議論し進めていく

議員 西川61系統が3月31日をもって廃止となるが、路線バスは市民にとって重要な交通手段のひとつである。今後の路線維持に必要な事業者支援について本市の考えを伺う。

都市整備部長 「西川61および西川62系統」に対し、平成22年度より運行経費に対する補助を毎年実施してきたが、西川61系統については、赤字路線からの脱却がなされない中、運転手不足などを理由に廃止する事となった。残る「西川62系統」の路線維持に向け、令和6年度以降についても引き続き、事業者支援を行う予定としている。

議員 現在tocoバスが走っていない地域である、美女木北1丁目から3丁目における移動実態の分析はどのようなデータに基づいて行われるのかを伺う。

都市整備部長 交通ビッグデータは、スマートフォンなどから取得した位置情報を集計・加工したもので、人の動きや滞留、発着点などの詳細な分析を行うことができる。そのため、バス路線のない地域における実態把握も可能であり、議員お話のエリアも含め、広く公共交通網全体の議論を進めていく。

